

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	(前) 現代文B (後) 国語演習	単位数	前1 後(文)2(理)1	年次	3年次
校内名称	(前) 現代文 (後) 現代文、記述国語(文系のみ)			ユニット数	前 1.5 後(文)2.5 (理)1.5	必修別	必修
使用教科書	高等学校現代文B [改訂版] (三省堂)						
副教材等	新国語総合ガイド四訂版(京都書房) 読み解くための現代文単語(文英堂) 頻度順入試漢字の総演習改訂版(三省堂) 評論速読トレーニング2000(数研出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

〈現代文とは〉 現代文という科目は、様々なものの見方や、近現代とはいかなる時代であるのかを学び、学んだことを基盤として多面的に物事を考える能力を身につけるための科目である。そのためには文章を正確に読み取り、筆者の言わんとしていることを正しくつかむ必要がある。そしてそれを書いたり話したりして、人に間違いなく伝わるように表現しなくてはならない。様々な文章を読んだり聞いたりする中で、筆者や話者、場合によっては出題者とコミュニケーションをとり、自分の中には存在しなかった「ものの見方・考え方」に触れ、考えを深めて、大きくなってもらいたい。 〈漢字・現代文単語の学習について〉 新たな漢字・新たな言葉を知るということは、新たな概念を得ることである。それは即ち、自らの思考の枠組みを広げ、抽象的思考能力を育む行為なのである。単に漢字・用語を丸暗記するのではなく、きちんとそれらの意味を理解した上で使えるようにして、読解力やコミュニケーション力の向上に役立ててもらいたい。

2 学習の到達目標

現代を知る上で必要不可欠な、言語論・科学論・芸術論・近代論など様々なジャンルの文章を丁寧に読解したうえで、自分の頭でその内容について考え、表現する。漢字・現代文単語の学習にも随時取り組み、一生ものの読解力(聞き取る力も含む)と表現力(書く力・話す力)を身につける。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 定期考査	授業での発言 記述の点検	記述の確認及び分析(感想用紙) 定期考査	記述の確認及び分析(問題集) 定期考査	行動の観察 記述の確認(問題集) 定期考査

評価点の割合は、考査点90%程度、平常点10%程度である。

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間考査まで	評論	【評論】 『身体〈の〉疎外』 (黒崎政男)	○		○	◎	○	d: 文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。	acde 行動の観察と確認・定期考査
	小説	【小説】 『美神』 (三島由紀夫)	○	○	○	◎	○	c: 適切な表現で感想を書く d: 登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。	abcde 行動の観察と確認・記述の確認及び定期考査
前期期末考査まで	評論	【評論】 『虚ろなまなざし』 (岡真理)	○	○		◎	○	d: 評論では、文章の構成や、段落相互の関係を読み取り、筆者の主張や内容をとらえる。小説では、登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。	abcde 行動の観察と確認及び定期考査
		【小説】 『舞姫』 (森鷗外)							
後期中間考査まで	評論	【評論】 『無常ということ』 (小林秀雄) 『日本文化の雑種性』 (加藤周一)	○		○	◎	○	d: 文章の構成や、段落相互の関係を読み取りながら、筆者の主張や内容をとらえる。	acde 行動の観察と確認・記述の確認及び定期考査
									acde 行動の観察と確認・記述の確認及び定期考査
後期期末考査まで	入試対策演習	適宜過去問など	○	○	◎	○	○	C: 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める。	abcde 行動の観察と確認 記述の確認

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元で観る。また、その単元で主として指導する国語の領域に◎を付している。

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2	年次	3	ユニット数	1.5	必選別	選
校内名称			選択古典								
使用教科書			古典B改訂版古文編・漢文編（大修館書店）								
副教材等			新精選古典文法（東京書籍）、精選漢文（尚文出版）、古文攻略マストアイテム76（桐原書店）、読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店）、新国語総合ガイド（京都書房）								

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典とは、歴史の波に揉まれながらも残った、偉大な先人達の素晴らしい言葉であり、現代の我々が読んで未来への糧とするものである。いろいろな感想を持ちつつ様々な価値観を知り、人間について深く考えてほしい。

選択古典の時間では、主に問題演習を行う。センター試験や主要私大の過去問を中心に、根拠をもって答えを出す練習を積んでいく。といっても、古典の学習であることには変わりなく、内容を読み味わうことも重視する。その為にも、今まで通り音読や暗唱をし、辞書をしつこく引いてもらいたい。音読や暗唱は古典のリズムや言語感覚を身体で捉えることに繋がり、読解のための一番の近道でもある。また辞書は、言葉の持つそれぞれの歴史や物語を覗くことができ、教養を深めるためにも大切である。

決して楽ではない内容だが、一年間真剣に古典と向き合う中で、受験対策にとどまらず、人間として成長してほしい。

2 学習の到達目標

共通テスト、個別試験に対応できる古典読解力を持つ。
 豊饒な古典の世界にふれたという実感を持つ。
 社会に出ていく上で恥ずかしくない教養を身につける。

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典的文章に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。			文章を的確に読みとり、問題文で問われていることについて分析し、正確に理解している。	言語や古典文学について理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	授業態度、提出物			定期考査、小テスト	定期考査、小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に5段階の評定にまとめる。 評価点の割合は、考査点90％程度、平常点10％程度である。					

4 学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価基準	評価方法
		文理学科文科	a	b	c	d	e		
		1.5ユニット							
前期 中間 考查まで	問題 演習①	センター試験・主要私大の過去問などに取り組む。	○					a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e：文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 定期考查
前期 期末 考查まで	問題 演習②	センター試験・主要私大の過去問などに取り組む。	○					a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e：文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 定期考查 小テスト
		文理学科文科							
		1.5ユニット							
後期 中間 考查まで	問題 演習③	センター試験・主要私大の過去問などに取り組む。	○					a：言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 d：習得した文法知識、句形を使い文を読むとはどういうことかを理解している。 e：文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 定期考查 小テスト
後期 中間 考查以降	問題 演習④	センター試験・記述試験対策						d：習得した文法知識、句形を使い文を読むとはどういうことかを理解している。 e：文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 小テスト

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度 b：話す・聞く能力 c：書く能力
 d：読む能力 e：知識・理解

※原則として一つの単元（題材）に取り組む毎に全ての観点で評価するが、それぞれでとりわけ重点的に評価を行う観点到○をつけている。なお、上記以外で試験範囲を追加する場合がある。

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	(前期) 古典講読 (後期) 国語演習	単位数	文系 前期 2 後期 1 理系 前期 1 後期 1	年次	3	ユニット数	文系 前期3.0 後期2.0 理系 前期1.5 後期1.5	必選別	必
校内名称			古典								
使用教科書			古典B改訂版古文編・漢文編（大修館書店）								
副教材等			新精選古典文法（東京書籍）、精選漢文（尚文出版）、錬成漢文2+（尚文出版）、改訂版古典速読トレーニング標準（数研出版）、読んで見て覚える重要古文単語315（尚文出版）、古文攻略マストアイテム76（桐原書店）、新国語総合ガイド（京都書房）、読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店）								

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典とは、歴史の波に揉まれながらも残った、偉大な先人達の素晴らしい言葉であり、現代の我々が読んで未来への糧とするものである。いろいろな感想を持ちつつ様々な価値観を知り、人間について深く考えてほしい。

予習…音読して本文を写し、辞書・文法書・漢文学習書などを使って訳してみる。完全な訳でなくていいので、「どこが分からな いか」「何がわかれば訳せるのか」を把握しておく。

授業…集中して授業に参加し、自分の頭で考え、板書していなくても必要なことはノートに書く。

復習…その日のうちに、ノートを見ながら内容を確認し本文を音読する。しばらく経ってからまたノートを見返して、重要事項の確認や音読をする。

音読や暗唱をすることは、古典のリズムや言語感覚を身体で捉えることに繋がり、読解のための一番の近道となる。また辞書は、言葉の持つそれぞれの歴史や物語を覗くことができ、教養を深めるために大切である。初めは面倒に感じても、音読や辞書を引くことを習慣にしよう。

2 学習の到達目標

【古文】必要な文法事項はすでに習得している。それらを使ってさらに読解を進め、重要単語をしっかりと覚えていくことによって、初見でも古文を読める力をつけていく。

【漢文】学んだ漢文の知識を生かして、多くの漢文に触れていく。難読漢字が多いことが漢文を難しく感じさせているが、多くの漢文に触れ、読み慣れることによって、徐々に文章の内容を把握できるようになってくる。

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ようとしている。			文章を的確に読みとり、自分の考えを深め、発展させている。	言語や古典文学について理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	授業態度、提出物			定期考査、小テスト	定期考査、小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に5段階の評定にまとめる。 評価点の割合は、考査点90％程度、平常点10％程度である。					

4 学習の活動

期間	単元名	学習内容(授業教材 ☆は文系のみ)		主な評価の観点					単元(題材)の評価基準	評価方法
		文理学科文科	文理学科理科	a	b	c	d	e		
		3.0ユニット	1.5ユニット							
前期 中間 考查まで	文章読解①	【古文】無名草子(紫式部のこと) 紫式部日記「和泉式部と清少納言」 ☆古今和歌集仮名序—六歌仙の歌 【漢文】 老子「小国寡民」 莊子「曳尾於塗中」		○					a: 言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e: 文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 定期考查
前期 期末 考查まで	文章読解②	【古文】 源氏物語「若紫」 蜻蛉日記「町の小路の女」 ☆源氏物語「若菜」 【漢文】 白居易「長恨歌」		○				○	a: 言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 d: 習得した文法知識、句形を使い文を読むとはどういうことかを理解している。	授業態度 提出物 定期考查 小テスト
		文理学科文科	文理学科理科							
		2.0ユニット	1.5ユニット							
後期 中間 考查まで	文章読解③	【古文】 枕草子「上にさぶらふ御猫は」 ☆玉勝間「師の説になづまざること」 ☆正徹物語「沓冠の折句」 【漢文】 史記「荊軻」		○					a: 言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e: 文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 定期考查 小テスト
後期 中間 考查以降	問題演習	センター試験・記述試験対策		○				○	a: 言語や古典文学に対する関心を持ち、積極的に知識を得ている。 e: 文法知識を覚えている。	授業態度 提出物 小テスト

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 話す・聞く能力 c : 書く能力
d : 読む能力 e : 知識・理解

※原則として一つの単元（題材）に取り組む毎に全ての観点で評価するが、それぞれでとりわけ重点的に評価を行う観点に○をつけている。なお、上記以外で試験範囲を追加する場合がある。

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史探究	単位数	1 単位	年次	3 年
校内名称	世界史探究			ユニット数	2.5	必選別	選択
使用教科書	「世界史B」 (実教出版)						
副教材等	最新世界史図説 タペストリー (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史は「暗記科目」とばかり思いがちであるが、そうすると世界史学習は苦しいだけになってしまう。TV番組や映画を見ている、新聞や本を読んでも、あるいは音楽を聴いたり、劇場や美術館に行ったりしても、世界史を知っていると理解が深まることが多い。するといろいろなことに興味が湧いて、自分の人間としての幅を広げることにもなる。世界史の学習を通じて、将来、「国際人」として活躍する際に必要な素養を養ってほしい。また、現在の世界で起こっているできごとに興味・関心を持ち、学んでいる世界史とつなげて考えることも大切。実際の入試の場では、単語を覚えているだけでは正解を導けない問題も多く、「なぜ」「だから」ということを考えて楽しく学習することが、実は得点にもつながる。

2 学習の到達目標

1年後期～2年で学んだことをふまえ、3年では現在の世界がどのように形づくられてきたかを学ぶ。ヨーロッパ人の海外進出によって、諸地域世界の交流がユーラシア規模から地球規模へと拡大していったが、このころアジアにはヨーロッパを脅かすほど大きな力を持った大帝国が存在していた。これらの学習を通じて、グローバルな視点を持って、各地域間の国際関係の変化について考察する。また、日本について客観的にみる目を養い、現在起こっている国際的諸問題に対する理解を深める。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習に取り組んでいる。	現在の世界で起こっている問題を、歴史的な観点から考察し、公正に判断して、それを適切に表現する。	世界の歴史に関する様々な資料から、必要な情報を選択し、活用する。	世界の歴史についての基本的な知識を身につけ、地理的な条件や日本の歴史と関連付けて理解する。
評 価 方 法	授業態度（積極的に参加しているかなど） 課題の提出	授業態度（質問に対する答えなど） 定期考査 課題の提出	定期考査 課題の提出	授業での発言 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価点の割合は、考査点95%程度、平常点5%程度です。				

4 学習の活動

期 間	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	アジア の 帝国 と 環大 西洋 革命	中央ユーラシアの帝国 南アジアの帝国 東南アジアの帝国 東アジアの帝国 14～18世紀の朝鮮と日本	○		○	○	a : 授業で積極的に発言し、ノートをとる際も自分なりに工夫する c : 産業革命や市民革命がおこった背景をこれまで学んだことから考察する d : ヨーロッパ人が海外に進出し、国としてのまとまりができあがっていったところ、アジア諸地域には強大な国家が繁栄していたことを理解し、欧米が優勢になるのは、環大西洋革命であることを知	定期考查 授業中の態度 発問への反応
		イギリス産業革命 南北アメリカの革命 フランス革命とナポレオン帝政						
前期 期末 考查まで	帝国主義 と 民族運動	ウィーン体制と1848年の革命 19世紀後半の欧米 ヨーロッパの帝国主義 アメリカの帝国主義 西アジアの改革 アフリカ分割と抵抗 インド・東南アジアの植民地化と抵抗運動	○	○	○		a : 近代工業が発達した欧米先進諸国が、植民地獲得競争を始めていったことを確認するとともに、これに対するアジア・アフリカの反応に関心を持つ b : 授業中の発問 課題内容 c : 帝国主義列強の進出に対し、アジア・アフリカ諸国がどのような対応をしたか、共通点と相違点を理解する	定期考查 授業中の態度 発問への反応 課題
後期 中間 考查まで	二つの 世界大戦	中華帝国の崩壊と中華民国の創立 第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制と国際協調 アジアのナショナリズムの台頭 世界恐慌とファシズム 満州事変と日中戦争 第二次世界大戦	○	○	○		a : 帝国主義列強の対立が第一次世界大戦を引き起こしたこと、対戦が総力戦となり、参加各国の大戦前の政治・社会構造を変化させたことを学ぶ。大戦後の世界で、国際協調の動きが世界恐慌によって崩れたことにも注目する b : 授業中の発問 c : ファシズムが台頭した背景を様々な資料から読み取る	定期考查 授業中の態度 発問への反応
後期 中間 考查以降	第二次 大戦後の 世界	冷戦時代の国際関係 戦後の世界 20世紀の文化	○	○		○	a : 戦後の冷戦と冷戦終結後のグローバル化の動きを、全体としてながめる b : 授業中の発問 d : 戦後の歴史の流れが現在にどのようなつながっているかを理解する	定期考查 授業中の態度 発問への反応

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断・表現
c : 技能 d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 地理歴史科 (学)日本史－近世までの潮流－

教科	地理歴史	科目	(学)日本史 －近世までの潮流－	単位数	4単位	年次	3年
校内名称	日本史			ユニット数	2.5	必選別	選択
使用教科書	「日本史B」 (実教出版)						
副教材等	新詳日本史(浜島書店)・新編史料日本史(とうほう)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

歴史を学ぶということは、過去を知ることである。しかし、それはただ単に知るだけでは意味がない。当時の人がなぜそのように行動したのか、なぜそのような組織や制度をつくったのか、歴史的な背景・関連を知ることが大切である。現代の価値観をもって過去のできごとを裁断するのではなく、当時の合理性を把握するのである。そうした見方を持つことは、私たちが「今」を客観的に見ることにつながる。歴史学習において、「疑問の心」や「好奇心」を持つことは非常に大切である。疑問や好奇心を持ったなら、関連する本を読んだり、博物館や史跡の見学に行ったりしてほしい。

日々の授業においても疑問の心や好奇心を忘れずにいてほしい。授業中にプリントを完成させるだけでは、ほんとうの学びにはつながらない。まず、しっかりと教師の話聞く。教師の話聞いて、大切と感じたり、疑問に思ったことは、アンダーラインを引いたり、欄外に書き留めておこう。疑問に思ったことは質問しよう。毎日の学習事項を時代の流れの中に位置づけることが大切なので、折にふれ、教科書や資料集の関連ページを読み直しストーリーとして把握しよう。そうすることで、また疑問の心や好奇心がわきおこり、歴史学習のモチベーションが高まるであろう。

2 学習の到達目標

日本の中世から近世に至る歴史の展開を、世界史的視野に立って、政治、経済、社会、文化などの歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で把握し、日本の文化や伝統の特色についての認識を深めるとともに、歴史的思考力、国際社会に生きる資質を養う。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本史に対する関心を高め、意欲的に学習に取り組んでいる。	歴史の事件を点で捉えるのではなく、線・面で捉える思考をし、表現する。	文字史料や図表などの歴史資料を読み取り、事象の背景や関連性を読み取る。	日本史についての基本的な知識を身につけ、地理的な条件や世界の歴史と関連付けて理解する。
評 価 方 法	授業態度(積極的に参加しているかなど)	授業態度(発問に対する答えなど) 定期考査	授業態度(発問に対する答えなど) 定期考査	授業での発言 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、前・後期末に5段階の評定にまとめます。評価点の割合は、定期考査点95%程度、平常点5%程度です。				

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3年 前期末まで	中世	○中世社会の成立と文化の新機運					a:受身ではなく、積極的な態度で授業に臨み、すすんで発言する。ノートをとる際に、ただ板書をそのまま写すのではなく、自分なりに工夫している。 b:古代からの継続性と中世社会の独自性を考える。 c:事象の内容や背景を、歴史資料から読み取る。 d:基本的な歴史用語を記憶し、それを他の事象と関連付けて、歴史の流れを理解している。	授業態度 定期考査
		・荘園公領制と武士団		○	○	○		
		・院政と平氏政権		○		○		
		・鎌倉幕府の成立		○		○		
		・武家政治の展開		○	○	○		
		・鎌倉武士と農村生活	○		○			
		・蒙古襲来と幕府の衰退		○	○	○		
		・鎌倉文化	○	○	○			
		○武家社会の展開と室町文化						
		・南北朝の動乱		○	○	○		
		・室町幕府の政治と外交		○	○	○		
		・惣村の発展と応仁の乱	○		○			
3年 後期末まで	近世	・室町文化	○		○	○	a:受身ではなく、積極的な態度で授業に臨み、すすんで発言する。ノートをとる際に、ただ板書をそのまま写すのではなく、自分なりに工夫している。 b:中世からの継続性と近世社会の独自性を考える。 c:事象の内容や背景を、歴史資料から読み取る。 d:基本的な歴史用語を記憶し、それを他の事象と関連付けて、歴史の流れを理解している。	授業態度 定期考査
		・戦国大名の領国経営		○	○	○		
		○幕藩体制の展開と近世の文化						
		・ヨーロッパ人の来航		○		○		
		・織豊政権	○	○				
		・桃山文化	○		○			
		・幕藩体制の成立	○		○			
		・鎖国		○	○			
		・近世の生活と文化	○		○			
		○幕藩体制の動揺と文化の成熟						
		・幕府政治の転換		○	○			
		・経済の発展	○	○				
		・学芸の発展と元禄文化	○		○			
		・幕藩体制の動揺と幕政の改革		○		○		
		・欧米列強の接近と天保の改革		○		○		
		・江戸中・後期の文化	○		○			

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現

c:資料活用の技能 d:知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○を付けている。

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	4単位	年次	3年
校内名称	地理B			ユニット数	2.5	必選別	選択
使用教科書	「新編 詳解地理B」 (二宮書店)						
副教材等	新詳高等地図 (帝国書院)、新詳地理資料COMPLETE2019 (帝国書院)、 新地理要点ノート (啓隆社)、データブック・オブ・ザ・ワールド2019 (二宮書店) 地理の整理と演習2020 (とうほう)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

地理を一言で言うと、「地表空間における特定地域の自然、人文の諸事情を総合的に把握し、地域的特色を明らかにしようとする学問」です。 もう少し簡単に言うと「広い地球上で、なぜ、そこにあるのか？なぜ、そこで起きているのか？」を考える学問です。「地理は暗記もの」と思っている人も多いと思いますが、実は、「ものごとが起きるしくみ」を学ぶ教科です。もちろん、対象は地表なので、地図を使うことは必須です。地図で確認しながら自分の頭の中に自分だけのマップを作ってみましょう。
--

2 学習の到達目標

世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	授業態度 (積極的な参加、地図帳の活用度など) 映像・文献に関する感想文・レポートの提出	授業態度 (質問に対する答えなど) 定期考査 映像・文献に関する感想文・レポートの内容	授業態度 (地図帳・データブックの活用度など) 定期考査	授業態度 (授業での発言など) 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点90%程度、平常点10%程度です。				

4 学習の活動

期間 政経	選択	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期 中間 考查まで		現代世界の系統地理的考察	■自然環境 ○地形環境 ○気候環境	○	○	○	○	a：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについての考察をもとに、単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。 d：自然環境に関する諸事象の分布や人間生活とのかかわりなどについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 感想文・レポート 定期考查
			■資源と産業 ○資源・エネルギー ○工業					a：学習内容に関する諸事情の分布や動向などに関する考察をもとに単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b：学習内容について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：学習内容に関する諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。 d：学習内容について系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。	
			○流通と消費 ○人口						
後期 中間 考查まで			○世界の中の日本 ○総合演習	○	○	○		a：現代世界における我が国の特色や地理的課題をもとに我が国に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 b：我が国が抱える諸課題、その解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：我が国に関する諸資料の取捨選択を適切に行い、特徴を読み取ったり図表にまとめたりしている。	授業態度 感想文・レポート 定期考查

※ 表中の観点について

a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現
c : 技能	d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2単位	年次	3年
校内名称	倫理／選択倫理（文系）・倫理政経（理系）			ユニット数	文系1.5 理系1.0	必選別	選
使用教科書	高等学校 改訂版 倫理 （第一学習社）						
副教材等	最新倫理資料集 （第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

まず、考えること。考えることに人間の本質がある、といわれる。ただ単に考えるのではなく、何が問題であり、その問いを解決するためにはどうしなければならないか、先行する思想家はどのように考えたのか、様々な問いを論理的整合性を持って解決しようと心がけてください。暗記科目と考えて記憶に精を出すのではなく、様々な問いに疑問を持つようにしてください。自ら考えようとする姿勢が、後になると理解につながります。

授業で板書を写し、評価をもらうことが勉強の（人生の）目的ではありません。何が重要なのかを見だし、自分が「理解するために」ノートを作り、自分だけの参考書を作ることが勉強であり、それが結果としてセンター試験でも生きてきます。ポイントは、人物とキーワードを結びつけること。

たくさん本を読みましょう。新聞も読みましょう。いろんな方法で「感性」を磨いてください。センター試験でも読解力が問われるものが必ずあります。

2 学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある人間として必要な能力と態度とを育む。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる先哲の思想を探究し、人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとする。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、時代背景や先哲の思想を参考にしながら、多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	先哲の著作や、様々な諸資料を読み、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関わる先哲の思想などを、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけている。
評 価 方 法	ワークシート レポート 授業の参加態度	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点90％程度、平常点10％程度です。				

4 学習の活動

倫理	理系倫政	選択倫理	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
2年後期で実施済み	2年後期で実施済み	前期中間調査まで	人間としての自覚	ギリシャの思想					a. 「哲学的な思考法」や「宗教的な思考法」に関心を持ち、「善さ」や「正しさ」とは何かについて探究しようとしている。	ワークシート 定期調査
				キリスト教・イスラーム・仏教の思想	○			○	d. 仁や礼などから人間についての見方や望ましい人間関係による社会生活のあり方などを理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	
前期中間調査まで	前期中間調査まで	前期中間調査まで	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の風土と伝統	○				a. 日本の伝統的な価値観について関心を持ち、それらを手がかりに日本の思想の展開について探究しようとしている。	ワークシート 定期調査
				外来思想の受容		○	○	○	b. 仏教思想間、朱子学と古学など、様々な思想を、時代背景も踏まえて比較しながら考察している。 c. 先人の思想に関わる資料から、その思想の特徴を読み取っている。 d. 仏教や儒学、とりわけ朱子学がどのように日本人の意識や価値観に影響を与えたかを理解し、次の「庶民の思想」を理解するためにも用いている。	
前期中間調査まで	前期中間調査まで	前期中間調査まで	国際社会に生きる日本人としての自覚	町人意識の目覚めと庶民思想	○	○		○	a. 江戸時代や明治時代という時代を踏まえ、思想の多様性に関心を持ってそれらの思想を探究しようとしている。 b. 町人の思想や国学が提唱する人間性を尊重する生き方について、儒学などとの関わりも踏まえて多面的に考察している。 d. 石田梅岩の心学が企業の社会的責任に通じる思想であることなど、取り上げる思想はいずれも現代の社会に通じる思想であることを理解し、自分の生き方に関わる知識として身につけている。	ワークシート 定期調査 レポート
				西洋思想との出会い	○	○			a. 明治以降日本に流入した西洋思想に対してさまざまな関わりがあることに関心を持ち、それらの思想間の関係について考察しようとしている。 b. 外来思想の受容やその影響を受けた思想および社会に与えた影響について、江戸時代のさまざまな思想や西洋思想との関わりも踏まえて多面的に考察している。	
前期期末調査まで	前期期末調査まで	前期期末調査まで	現代に生き	人間の尊厳			○	○	b. 設定された時代に登場した新しい思想と現代に生きる人間の倫理観について、関連づけて考察できている。	ワークシート 定期調査 レポート
				近代の科学革命と自然観		○		○	c. ルネサンス期の絵画や文学作品などの諸資料を、考え方を深めるために適切に活用している。 d. 自然と人間との関わり、科学技術の発達の意義や問題点を理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	

前期 期末 調査まで	前期 期末 調査まで	人間の倫理	自由で平等な社会の実現		○		○	a. カントやヘーゲルをはじめとする哲学者の思想に触れて倫理的な見方や考え方について関心が高まっている。 b. カントの動機主義とベンサムの結果主義の比較などの様々な思想を踏まえて多面的なものの見方ができるようになっている。 d. 現代においても存在感のある大哲学者の思想を正しく理解し、人格の形成に生かす知識として、一般教養として世界で通用する知識を身につけている。	
			人間性の回復と主体性の確立	○		○	○	a. 社会主義や実存主義の哲学考察した問題が、現代に生きる私たちも直面する、大衆社会における個という問題であることを認識し、倫理的な課題について関心を高めている。 c. 先哲の考え方や生き方に関する諸資料を適切に読み取っている。 d. 実存主義の哲学などを通じて、大衆社会における人間性について考察し、自らの人格の形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート 定期調査
後期 後期	後期	現代に生きる人間の倫理	現代の思想と人間像		○		○	b. 二度の大戦を経て人間や生き方に対する見方がどう変化したか、新たな哲学上の考え方について、多面的・多角的に考察している。 d. 理性に信頼をおく近代的な人間像を問い直す現代の哲学を正しく理解し、自己や社会全体の幸福の実現のために生かす知識として身につけている。	ワークシート 定期調査
			生命への畏敬と社会参加	○		○		a. ガンディーやマザーテレサなどの生きかたを通じて、現代に生きる自己の課題を主体的に考えようとしている。 c. 現代に生きる人間が直面する諸課題に関する資料を、さまざまなメディアを通して収集して活用している。	ワークシート レポート
		青年期の課題と自己形成	青年期の課題と自己の探求	○			○	a. 青年期の意義と課題について、豊かな自己形成に向けて、自らを省みながら探究しようとしている。	ワークシート レポート
			現代の青年期	○		○		c. 青年期の意義と課題に関する諸資料を適切に読み取り、青年期に関わる見方、考え方や、先哲の思想を充分に活用している。 d. 自己確立の基礎を培う時期としての青年期の積極的な意義を理解し、青年期に関わる見方や考え方を、自己の人格形成に生かす知識として身につけている。	
		現代の諸課題と倫理	生命の問題と倫理課題 環境の問題と倫理課題 情報社会と倫理課題	○	○	○		a. 現代社会において、様々な倫理的な問題が生じていることに関心を持ち、それらを先哲の思想も援用しながら、自己に関わる問題として考えている。 b. 広い視野に立って考察し、自己の考えを様々な方法で適切に表現している。 c. 先哲の思想を適切に選択して活用している。	ワークシート レポート

※ 表中の観点について

a : 関心・意欲・態度
c : 技能

b : 思考・判断・表現
d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2単位	年次	3年
校内名称	政治経済／選択政経（文系） 倫理政経（理系）			ユニット数	1.5	必選別	選
使用教科書	改訂版 政治・経済（数研出版）						
副教材等	政治・経済資料集2020（清水書院） 改訂版政治・経済整理ノート（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年の「現代社会」、2年後期の政治分野に続いて、3年からは経済分野に入ります。経済は「少し難しい」と感じる人も多いようですが、経済は現実の社会で実際に行われている活動であり、日々の日常生活にも関係のあることです。「政治経済」すべてに共通していることですが、現実の社会に興味・関心を持って、さまざまな情報を得ることが学習を容易にする近道です。また、現在の日本では、グローバル化が急速に進んでいます。国際経済にも苦手意識を持つことなく、積極的に学習してください。 ノートの空欄を埋めることだけが授業を受ける目的ではありません。社会に出てからも使える知識・感性を身につけるために、授業が行われているということを踏まえて授業を受けてください。もちろん1月の大学入学共通テストで高得点を狙うことも目的の一つにはなるでしょう。 「政治経済」は現実の社会で実際に起こっていることを扱う科目です。まずは、できるだけ新聞を読み、テレビのニュースを定期的に見て、インターネットで検索してみましょう。政治と経済は日々変化しています。多くの情報に接することが、最終的に大学入学共通テストでも役に立ちます。 なお、選択政経を受講する生徒は、政治分野については通常授業では扱わないので、夏季休暇中に行われる補講を必ず受講して補うようにして下さい。

2 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の政治・経済・国際経済・国際政治に対する関心を高め、自ら意欲的にさまざまな課題について対応や解決策を追求する。 それとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について、客観的に考察してその実現に向けて努力する。	現代の政治・国際経済・国際政治に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する。 社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治・経済・国際経済・国際政治に関わるさまざまな資料を、マスメディアなどを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治・経済・国際経済・国際政治に関する基本的な事項についてその知識を身につけている。 また、それらの本質や特質および動向を捉えられるように。基本的な概念や理論・仕組みを理解する。
評価方法	授業中の取り組み姿勢	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点95%程度、平常点5%程度です。				

4 学習の活動

期間 政経 選択	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 期末 調査 まで	現代 経済 のしく み	経済活動の意義と経済体制(歴史的) ・人間と経済活動 ・資本主義経済の発展と変容 ・経済活動の主体 現代経済のしくみ(理論的) ・市場経済のしくみ ・物価の動向 ・国民所得と経済成長 ・財政のしくみと租税 ・金融のしくみと働き	○		○	○	a. さまざまな経済活動や経済理論に対する興味・関心を高めている。 c. 学習した経済理論などを、現実の経済活動に関連づける。 d. 市場経済・財政・金融のしくみなどを理論的に理解する。	ワークシート (自宅学習の課題などを含む) (以下同) 定期調査
前期 期末 調査 まで	日本 経済 と福祉	・戦後日本経済のあゆみ ・中小企業と農業・食料 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題と消費者保護 ・労使関係と労働市場 ・少子高齢化と社会保障	○		○	○	a. 日本経済の歴史や現状について、興味や関心を高めている。 c. 中小企業・農業・環境問題・消費者問題・労働問題・社会保障などについて、現状を把握する。 d. 日本経済の歴史や現状についての知識を高め、さまざまな課題を理解する。	ワークシート 定期調査
2年 次に 学習 済み	夏季 休暇 中の 補講	民主政治の基本原則 ・政治と法 ・民主政治のあゆみ ・民主政治の基本原則とその展開 ・政治体制の比較 日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の基本的性格 ・基本的人権の保障 ・日本国憲法の平和主義 日本の政治機構 ・国会のしくみと役割 ・内閣と行政機構 ・裁判所しくみと人権保障 ・地方自治のしくみと住民自治 政治参加と民主政治の課題 ・戦後政治と政党 ・選挙制度のしくみ ・世論と情報化社会				○	d. 短期間で、政治分野をすべて学習するため、知識の確認が中心となる。	ワークシート 実力調査 確認テスト
後期 中間 期末 調査 まで	国際 経済 ・国際 政治	国際政治の動向 ・貿易と国際収支 ・国際経済のしくみ 国際経済の課題と国際協力 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・発展途上国の経済と経済協力 ・国際経済における日本 国際政治の動向 ・国際社会の特質 ・国際社会と国際法 ・国際社会の組織化 ・戦後国際政治の展開 国際社会の課題と日本の役割 ・核兵器の廃絶と軍縮問題 ・地域紛争と人種・民族問題	○		○	○	a. 国際化が進行する中で、国際経済や国際政治に対する興味・関心を高める。 c. 国際化・グローバル化を見据えて、国際社会の情報を積極的に捉えられるようにする。	ワークシート 定期調査
後期 期末 調査 まで	第3 編 現代 の諸 課題	持続可能な社会の形成を目指して 現代日本の諸課題 少子高齢化と社会保障 雇用と労働をめぐる問題 農業と食糧問題 大規模自然災害とエネルギー問題 国際社会の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題 国際経済格差の是正と国際協力 人種・民族問題と地域紛争		○	○		b. これまでの学習してきたことを踏まえて、現代日本や国際社会の諸課題について、その解決に向けて、総合的な観点から考えて、より考察を深化・発展させる。 c. それぞれの諸課題については、対立点を「トレード・オフ」の関係としてとらえるのではなく、解決方法を見つけるためにさまざまな資料を客観的にとらえるようにする。	ワークシート レポート

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断・表現
c : 技能 d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	3年次
校内名称	体育			ユニット数	1.5	必選別	必修
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	Active Sports（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会的に健康に関心が高まる一方、体を動かしたり、スポーツをする機会は減少し、二極化しているのが現状である。しかし、一生涯使い続ける体を鍛え、育てる時期は今しかない。この時期にこそ正しい体の動かし方や鍛え方、整え方を身に付け、様々な体力を養っていくことが必要である。また、授業を通して仲間とのコミュニケーション力や共に協力して課題を解決していく力を身に付けることも重要である。更に、より分析的に運動を捉えることで、今まで出来なかった事が出来るようになったり、各種目の本質的な楽しさに触れることで豊かなスポーツライフを築くことが出来るのである。

2 学習の到達目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。1，2年次に学習した内容をもとに、自分達で種目選択・班編成を行い、全員で協力して各種目を安全に楽しく、かつその本質を味わえるような活動を展開していく。その中で各自がリーダーシップを発揮し、運動場面におけるマネージメント力を養っていく。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	受身の授業ではなく、常に積極的に授業に取り組む事が大切である。出来る出来ないではなく、いかに前向きに取り組むかということである。また、授業に取り組む中で、周囲の仲間の力量や身体の特徴を判断していく事も集団で活動する上では重要である。仲間と協力して、安全にかつ各種目の特性に触れ、運動の楽しさ味わう。公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能の向上につなげる。自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。運動を継続したり、体力や技能向上のための計画を考えることができる。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、生涯にわたって、運動に親しむことができる。	記録や技能向上に挑戦する。運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。仲間と協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解する。スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解する。
評 価 方 法	・出席 ・受講態度 ・レポート 等	・レポート ・体育理論のテスト 等	・技能観察 ・技術テスト ・レポート 等	・レポート ・体育理論のテスト ・技能観察 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価点の割合は、関心・意欲・態度50%程度、思考・判断・技能・知識50%程度。				

4 学習の活動

期 間	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	ネット型・ゴール型	A. バレーボール B. バスケットボール C. サッカー 上記3種目から1種目を選択 *各種目に体づくり運動を含む	○	○	○	○	a: 各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手やルールを大切にする。グループでの構成や、チームの作戦などの話し合いに積極的に参加している。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 各種目の特性に応じた技能や技術を身に付けている。また、身に付けた技能を駆使し仲間と連携した試合をおこなえている。 d: 技術の名称や、ルールを理解し、実践しようとしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察 テスト
前期 期末 考查まで	水泳 体育理論	・水泳 (クロール、平泳ぎ、背泳ぎ バタフライ) ・体育理論 生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ	○	○	○	○	a: 水泳の楽しさや喜びを味わう。マナーやルールを大切に、水泳の事故防止に留意し、積極的に自己の泳力向上に取り組んでいる。 b: 生涯にわたって水泳に親しむため、課題に応じた取り組みを自ら考え実践している。 c: 水泳の特性を理解し、効率的な泳法を身に付ける。また、スタートやターンの技術を習得し、スピードにのった泳ぎに繋げている。 d: 技術の名称や、ルールを理解し、実践しようとしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察 テスト
後期 期末 考查まで	ベースボール型・ネット型 体育理論	A. ソフトボール B. バドミントン C. 卓球 上記3種目から1種目を選択 *各種目に体づくり運動を含む ・体育理論 日本のスポーツ振興 スポーツと環境	○	○	○	○	a: 各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手やルールを大切にする。グループでの構成や、チームの作戦などの話し合いに積極的に参加している。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 各種目の特性に応じた技能や技術を身に付けている。また、身に付けた技能を駆使し仲間と連携した試合をおこなえている。 d: 技術の名称や、ルールを理解し、実践しようとしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察 テスト

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断 c : 運動の技能 d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	音楽Ⅲ (教育出版) 301						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歌唱（合唱を含む）・器楽演奏・創作・鑑賞を柱に学習する。
- ・音楽Ⅲは音楽Ⅰ，Ⅱをふまえて、各々の選択者の目的に応じて、より音楽的内容を深めることを目標にしている。
- ・普通科・文系選択者の中から、選択して1年間（前・後期各1.5ユニットずつ）履修する。
- ・選択者へアンケートを実施し、生徒の状況及び実技レベル等により、適切に教材を選択する。
- ・音楽系進学希望者については、実技科目指導、聴音・楽典・ソルフェージュの指導も加えて行う。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:表現の創意工夫	c:表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏し、表現するか意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら、楽曲や演奏を解釈し、価値を考えたりして、理解を深め、よさや美しさを味わっている。
評 価 方 法	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 提出物
上に示す観点に基づいて、a:40%、b・c・d:60%の割合で評価し、5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	歌唱	【独唱重唱】 発声法 独唱 二重唱 三重唱	○	○	○		a: 歌曲に関心を持ちそれらの良さを理解しようとしている。 b: 曲の構成を理解し曲の雰囲気を感じ取り、表現を工夫している。 c: 発声や外国語の発音の仕方に留意して、表現の向上を図っている。	観察 演奏の聴取
	器楽	【管楽器】 リコーダー コンソート 【弦楽器】 ギター、箏	○	○	○	○	a 自ら進んで様々な楽器に取り組み、互いに協力して音楽を作り上げている。 b: 楽器の響きや特徴を生かして主体的に演奏している。 c: 音量やフレーズを意識し調和のとれた合奏をしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽に対する理解を深め、美しさを感じている。	観察 演奏の聴取
	音楽教養	【音楽史】 【音楽理論】 【自由選択曲】 (各自の進路に適した曲)	○	○	○	○	a: 曲の構成や背景について理解を深めようとしている。 b: 曲の構成を理解し曲の雰囲気を感じ取り、表現を工夫している。 c: 曲に使われているさまざまな楽器の演奏法を理解している。 d: 様々な表現形態を理解し、響きや雰囲気の違いを感じ取っている。	観察 提出物
	鑑賞	【名曲鑑賞】 CD, DVD等 による鑑賞	○			○	a: 曲の背景について理解を深めようとしている。 d: 作曲者や時代による表現の違いを理解しようとしている。	観察 提出物
後期	選択発表	【独唱・奏】 【創作】 各自の進路に適した楽器（歌唱）、創作等に取り組む	○	○	○	○	a: 自ら進んで主体的に演奏に取り組もうとしている。 b: 特徴や役割を理解し、主体的に表現している。 c: 効果や表現方法を考えて、曲の雰囲気を作り出している。 d: 様々な表現形態を理解し、響きや雰囲気の違いを感じ取っている。	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫

c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, c, d の3観点で評価をする。

※ 履修年次を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 英語科

教科	英語	科目	英語理解	単位数	前2 後3	年次	3年次
校内名称	英語 R (前期) / 英語 R 英語 W (後期)			ユニット数	前期 3.0 後期 4.5	必選別	必
使用教科書	英	R : ①Unicorn English Communication 3 (文英堂)					
	英	W : ⑦Unicorn English Expression 2 (文英堂)					
副教材等	英	R : ②Cutting Edge 2020 Orange (エミル出版) ③大学入試共通テスト 英語 (リーディング) 対策 Reach 40 (美誠社) ④共通テスト10分リスニングプレノート (数研出版) ⑤POWER STAGE 英文法・語法問題トレーニングブック (アドバンスト) (桐原書店) ⑥データベース4500 完成英単語・熟語 (桐原書店) ⑦基礎英語長文問題精講 (旺文社) W : ⑧精選・英作文 300 題 (日栄社) ⑨Power Stage (桐原書店)					

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<英語R>

予習・・・英文を読み、問題を解き、語彙を調べ疑問点を明らかにしておく。

授業・・・予習で自ら考えたことと実際にはどうであるかの確認をおこなう。ペアワーク等で積極的に自らの考えを発信し、問いに答える。

復習・・・あらためて英文の意味を理解し、違う文脈ででてきたときも理解できるようにしておく。また、日ごろより様々な分野にふれることで関連分野の知識も深める。

<英語W>

Wは主に自由英作文やエッセイライティングを行うW1、入試(主に国公立)英作文対策を行うW2の2つの形態で実施する。W1ではジャーナルを使用し、授業中の決められた時間内に50～100語程度の英作文を行う。英語を書く前にどのように自分の意見をまとめるか、どのような構成で記載するとよいかを重点的に学ぶので、毎時間集中して授業を受けること。W2ではEXERCISES Bを予習課題とし、授業中に添削をする。添削はネイティブの先生も担当して下さるので、積極的に授業に参加して、様々な表現方法を学んでほしい。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。	英理 ・プレゼンテーション 異文化理解 ・プレゼンテーション ・インタビューテスト	・読んだり書いたりしたことを踏まえ、自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で書くことができる。	異理 ・エッセーライティング ・定期考査	・多様な分野に関して、自然な速さで話されるスピーチ、会話、ニュースを聞き、事実関係を正確に把握することができる。 ・ある程度の長さの自然、化学、芸術、文学等の多様なテーマの会話、スピーチ、講義等において、なじみのないことでも事実関係を正確に理解することができる。	異理 ・リスニングテスト ・定期考査	・小説や自叙伝、伝記などを辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、全体の概要を把握することができる。 ・海外の新聞記事やレポート、英文で書かれた契約書などを一読して、その内容の重要度を判断し、必要に応じて読む速度や読み方を変えて、正確に読むことができる。	英理 ・リーディングテスト ・定期考査 異理 ・定期考査

3 学習評価(評価基準と評価方法) 英語R・英語W共通

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」と書くことの到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「読むこと」と「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、各学期末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に分配し、評価します。				

4－1 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価基準	評価方法
英語R Unicorn III L7, 9, 11 (各レッスン3～4 時間) Cutting Edge Chapter1～12 (各チャプターに つき3～4時間)	L7/L9/L11	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
	/ Chap1 絶 滅種と DNA	高度な話題について読み、 自分の意見を相手に伝え ようとする。	自分の書いた内容 について積極的に 話し合ったり、意見 の交換をしている。	ペアワークによる 言語活動ができた か。	ペアワークによる 言語活動を観察す る。
	/ Chap 2 ジョギング	英語表現の能力			
	/ Chap3 あ あ、私のク ッキーが	1・2年時に学んだ文法事 項を正しく運用すること ができる。	伝えたい内容に応 じて語句や表現を 選択し、適切に書く ことができる。	今まで学んだ文法 事項・表現を用い て、適切に書くこと ができたか。	定期テスト
	/ Chap4 言 語の変化 /	英語の理解の能力			
	Chap5 視覚	高度な内容についての英 文を正しく理解すること ができる。	長文に書かれた内 容を正しく読み取 る。	穴埋め、部分訳で正 しく文を完成でき たか。	定期テスト
	/ Chap6 温 暖化の証明	言語や文化についての知識・理解			
	/ Chapt7 幸運な惑星	アメリカや諸外国の文化 や歴史について理解する	長文に書かれた内 容について正しく 読み解く。	英文の内容につい て正しく理解でき たか。	定期テスト
	/ Chap8 検 索エンジン と記憶 /				
	Chap9 科学 界とチンパ ンジー社会				
	Chap10 オ ン カ ロ				
	Chap11 駅 の 落 書 き				
	Chap 12 AI と機械学習				

4-1 学習の活動

<英語W>

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	L1	基本時制		○	○		毎時、予習課題として課された英作文を適切に書くことができるか。その英作文に至るまでに、どの文法知識・語彙を使用するか適切に検討できているか。自分の意見を適切に表現ができているか。また定期考查において、基本問題、応用問題に解答することができるか。	教員(日本人、ネイティブ)添削・グループワーク・ペアワーク・定期考查
	L2	完了形		○	○			
	L3	助動詞		○	○			
	L4	受動態		○	○			
	L5	重要動詞		○	○			
前期 期末 考查まで	L6	不定詞		○	○		毎時、予習課題として課された英作文を適切に書くことができるか。その英作文に至るまでに、どの文法知識・語彙を使用するか適切に検討できているか。自分の意見を適切に表現ができているか。また定期考查において、基本問題、応用問題に解答することができるか。	教員(日本人、ネイティブ)添削・グループワーク・ペアワーク・定期考查
	L7	分詞		○	○			
	L8	動名詞		○	○			
	L9	前置詞		○	○			
後期 中間 考查まで	L10	関係詞		○	○		毎時、予習課題として課された英作文を適切に書くことができるか。その英作文に至るまでに、どの文法知識・語彙を使用するか適切に検討できているか。自分の意見を適切に表現ができているか。また定期考查において、基本問題、応用問題に解答することができるか。	教員(日本人、ネイティブ)添削・グループワーク・ペアワーク・定期考查
	L11	比較		○	○			
	L12	否定		○	○			
	L13	仮定法		○	○			
	L14	名詞節		○	○			
	L15	副詞節(1)		○	○			
	L16	副詞節(2)		○	○			
後期 期末 考查まで	L17	総合		○	○		毎時、予習課題として課された英作文を適切に書くことができるか。その英作文に至るまでに、どの文法知識・語彙を使用するか適切に検討できているか。自分の意見を適切に表現ができているか。また定期考查において、基本問題、応用問題に解答することができるか。	教員(日本人、ネイティブ)添削・グループワーク・ペアワーク・定期考查
		条件付英作文		○	○			
		自由英作文		○	○			

※ 表中の観点について

a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現
c : 技能	d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 外国語・英語

教科	英語	科目	英語演習		単位数	前期1	年次	3年次
校内名称	英語演習				ユニット	1.5	必修別	選
使用教科書								
副教材等	Evolution : Read between the lines (2nd addition)							

1. 担当者からのメッセージ
Building on the base of what was learned in the first and second years this class will treat language learning in a truly integrated manner. In particular, an emphasis will be placed on speaking (discussion, debate, presentation, role-play, etc.), and expressing individual opinions and ideas. In class, students will be presented with challenging topics and encouraged to express opinions freely. Topics will be sourced from around the world and chosen in particular to stir interest, increase general knowledge, and broaden horizons.

【第3学年】学習到達目標

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・興味・関心のあるトピックに関して、具体的な理由を示しながら説得力をもって、賛成や反対の意見を述べることができる。	英語理解能力(学)英語演習 ・プレゼンテーション	・様々なトピックについて書かれた英文を読み、また話された英文を聞いて、それぞれのポイントをつ捉えて、その概要を簡潔に書くことができる。	異文化理解能力 ・エッセーライティング ・定期考査	・多様な分野に関して、自然な速さで話されるスピーチ、会話、ニュースを聞き、事実関係を正確に把握することができる。	英語理解能力(学)英語演習 ・リスニングテスト ・定期考査	・小説や自叙伝、伝記などを辞書に頼りすぎることなく、一定の速度で読み続け、全体の概要を把握することができる。	英語理解能力(学)英語演習 ・リーディングテスト ・定期考査
・様々なトピックに関して、他者の意見を聞き、自分の意見を正確に表明し、円滑に会話を進めることができる。	英語理解能力(学)英語演習 ・プレゼンテーション			・ある程度の長さの自然、化学、芸術、文学等の多様なテーマの会話、スピーチ、講義等において、なじみのないことでも事実関係を正確に理解することができる。	英語理解能力(学)英語演習 ・定期考査	・海外の新聞記事やレポートなどを一読して、その内容の重要度を判断し、必要に応じて読む速度や読み方を変えて、正確に読むことができる。	英語理解能力(学)英語演習 ・定期考査

【年間指導計画】

学期	単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価基準	評価方法
前期	Evolution Original material chapter1	Beethoven	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter2	Basketball	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter3	Eating behaviour	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter4	Martin Luther King Jr.	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter5	Tone of voice	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter6	Handshake	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter7	Materialism	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter8	Animal intelligence	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter9	Childhood cancer	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
後期	Evolution Original material chapter10	Sleeping shark	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter11	Blind taste-test	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter12	Demand for English	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter13	Boredom	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter14	Environment and evolution	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter15	Language and culture	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter16	Importance of writing	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter17	Healthy optimism	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter18	Urban legend	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter19	Global language	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト
	Evolution Original material chapter20	Aircraft engineering	Communicating difficult ideas and concepts, Building of prior years study, Comprehension of more complex English, A deeper understanding of not only various cultures and countries, but the issues they face today.	Discussion, presentation, debate Introduction of famous books, watching and reading current news, etc. Real world English	①②③④	①②③④ In-class work hand-in 定期テスト

【学習評価（評価の観点と実施方法）】

観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実 施 方 法	授業態度、ペーパーワーク	定期考査、ペーパーワーク	定期考査、発表	定期考査、小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまことに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点70％程度、平常点30％程度です。				

令和2年度 (学)SS理数

教科	S S 理数	科目	S S 数学Ⅱ		単位数	前期 1， 後期 1		年次	3 年次
校内名称	数学 γ	ユニット数	前期 1． 5， 後期 1． 5				必選別	文科選択	
使用教科書	なし								
副教材等	スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B（数研出版）								

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

いよいよ多くの授業が演習形式となります。演習形式で最も大切なのは「予習」→「授業」(→「質問」)→「復習」というサイクルを確実に実行することです。このいずれか一つでも欠けると学習の効果が激減します。それぞれのサイクルについて、簡単にアドバイスを書いておきます。

<予習について>

本番の試験でも1題に与えられる時間は長くても30分だと心得ましょう。学習初期の段階、つまりまだ基本的な知識が充分定着していない段階で1題にあまりにも長い時間をかけ過ぎるのは効率的ではありません。しかし、解けなかった場合でも「解けなかった」で予習を終えるのではなく、手持ちの参考書で類題を調べるなどの出来る努力はきちんとして授業に臨みましょう。また、時間をかけることがすべて悪いわけではありません。ある程度の知識が定着してきた段階では、長時間考えられる思考力を養うことも大切です。自分が今どの段階にいるのかを冷静に見極めてください。

<授業について>

他の人の考え方、参考になる考え方をしっかりと吸収してください。ただ「合っていた」「間違っていた」では授業を受けるメリットは皆無に等しいです。また、目の前の1題が解けるだけでは価値はありません。我々はその1題を題材に、どのようなアプローチをすれば解答に近づけるのか、沢山のヒントを与えています。少しでも漏らさずにメモを取り、活かしてください。万が一、授業中に理解出来なかった所があれば、できるだけ早く質問するなどして解決しておきましょう。経験上「あとでやる」≒「やらない」です。

<復習について>

最も重要なのが復習です。わかったつもりでも自分ではなかなか再現できないのが数学の難しさです。何も見ずにスラスラと解答できるようになるまで、何度も繰り返し復習に励んでください。

最後に... 数学で大切なことは「解き方を覚える」のではなく、「自分の持っている知識を使って解いていく」ことです。すぐに解答に頼らず、自分で考える習慣を身につけてください。

2 学習の到達目標

- ①大学入試問題を収録した問題集を用いて、演習形式の授業を行うことにより、基本事項の確認と定着を図るとともに、問題解決方法を身につける。
- ②生徒自身の答案を相互に検討しあうことで、読みやすく意図が伝わる答案の書き方を身につける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	数学の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学における数学的な見方や考え方を身につけている。	数学において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	提出課題 観察等	考查 提出課題 観察等	考查 提出課題 観察等	考查 提出課題 観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価点の割合は、考查点90%程度、平常点10%程度です。				

4 学習の活動 校内名称「数学γ」

	期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
文科選択	前期 中間 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	前期 期末 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 中間 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 期末 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度 b：思考・判断・表現 c：技能 d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 (学)SS理数

教科	SS理数	科目	SS数学Ⅲ	単位数	前期2, 後期2 (文科) 前期3, 後期3 (理科)	年次	3年次
校内名称	数学αβ (文科) 数学ⅢC (理科)	ユニット数	前期3. 0, 後期3. 0 (文科) 前期5. 0, 後期5. 0 (理科)		必選別		必修
使用教科書	(文科) なし (理科) 詳説数学Ⅲー改訂版ー (啓林館)						
副教材等	(文理共通) スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B (数研出版) (理科のみ) 改訂版サクシード数学Ⅲ (数研出版), 改訂版チャート式基礎からの数学Ⅲ (数研出版) オリジナルスタンダード数学演習Ⅲ (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

いよいよ多くの授業が演習形式となります。演習形式で最も大切なのは「予習」→「授業」(→「質問」)→「復習」というサイクルを確実に実行することです。このいずれか一つでも欠けると学習の効果が激減します。それぞれのサイクルについて、簡単にアドバイスを書いておきます。

<予習について>

本番の試験でも1題に与えられる時間は長くても30分だと心得ましょう。学習初期の段階、つまりまだ基本的な知識が充分定着していない段階で1題にあまりにも長い時間をかけ過ぎるのは効率的ではありません。しかし、解けなかった場合でも「解けなかった」で予習を終えるのではなく、手持ちの参考書で類題を調べるなどの出来る努力はきちんとして授業に臨みましょう。また、時間をかけることがすべて悪いわけではありません。ある程度の知識が定着してきた段階では、長時間考えられる思考力を養うことも大切です。自分が今どの段階にいるのかを冷静に見極めてください。

<授業について>

他の人の考え方、参考になる考え方をしっかりと吸収してください。ただ「合っていた」「間違っていた」では授業を受けるメリットは皆無に等しいです。また、目の前の1題が解けるだけでは価値はありません。我々はその1題を題材に、どのようなアプローチをすれば解答に近づけるのか、沢山のヒントを与えています。少しでも漏らさずにメモを取り、活かしてください。万が一、授業中に理解出来なかった所があれば、できるだけ早く質問するなどして解決しておきましょう。経験上「あとでやる」≒「やらない」です。

<復習について>

最も重要なのが復習です。わかったつもりでも自分ではなかなか再現できないのが数学の難しさです。何も見ずにスラスラと解答できるようになるまで、何度も繰り返し復習に励んでください。

最後に... 数学で大切なことは「解き方を覚える」のではなく、「自分の持っている知識を使って解いていく」ことです。すぐに解答に頼らず、自分で考える習慣を身につけてください。

2 学習の到達目標

- ①大学入試問題を収録した問題集を用いて、演習形式の授業を行うことにより、基本事項の確認と定着を図るとともに、問題解決方法を身につける。
- ②生徒自身の答案を相互に検討しあうことで、読みやすく意図が伝わる答案の書き方を身につける。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	数学の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学における数学的な見方や考え方を身につけている。	数学において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	提出課題 観察等	考查 提出課題 観察等	考查 提出課題 観察等	考查 提出課題 観察等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考查点90%程度、平常点10%程度です。				

4 学習の活動 校内名称「数学 α 」「数学 β 」

	期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
文科	前期 中間 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	前期 期末 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 中間 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 期末 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度 b：思考・判断・表現 c：技能 d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

校内名称「数学Ⅲ」

期 間	単 元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
理 科	前期 中間 考查まで	積分法 面積 体積・回転体の体積 曲線の長さ 微分方程式	○	○	○	○	a:定積分を用いて、いろいろな関数で囲まれた図形の面積、回転体の体積や曲線の長さについて考察しようとする。 b:いろいろな関数で囲まれた図形の面積や、回転体の体積、曲線の長さについて考察することができる。 c:いろいろな関数で囲まれた図形の面積や、回転体の体積、曲線の長さを求めることできる。 d:定積分と面積、体積、曲線の長さの関係を理解している。	考查 提出課題 観察等
		数学Ⅲ総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	前期 期末 考查まで	数学Ⅲ総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 中間 考查まで	数学Ⅲ総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 期末 考查まで	数学Ⅲ総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度 b：思考・判断・表現 c：技能 d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

校内名称「数学C」

	期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
理科	前期 中間 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	前期 期末 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 中間 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等
	後期 期末 検査まで	総合 演習	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B総合演習	○	○	○	○	a:演習に積極的に取り組もうとしている。 b:演習において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることができる。 c:演習において、事象を数学的に表現・処理する方法や推論の技能を身につけている。 d:数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	考查 提出課題 観察等

※ 表中の観点について a：関心・意欲・態度 b：思考・判断・表現 c：技能 d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 (学)SS理数

教科	SS理数	科目	SS物理	単位数	4単位	年次	3年次
校内名称	物理			ユニット数	6.0u	必選別	選択
使用教科書	物理（数研出版）						
副教材等	物理（数研出版）、フォトサイエンス物理図解（数研出版）、チェック&演習物理（数研出版）、重要問題集（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年の物理で学んだように、力学により自然界の多くの現象を説明できます。では、力学だけで自然界の全てが説明できるのでしょうか？ 答はNoです。例えば、光は「真空」を伝わることのできる波で、力学的な波ではありません。ここで、力学にはなかった「場」が登場します。現代では、光は電場と磁場（電磁場）の振動が伝わる電磁波の一種であることがわかっています。3年の物理では、力学を越えた世界、電気と磁気さらには原子の世界へと進んでみましょう。

2 学習の到達目標

物理的な事物・現象の探究を通して、物理学的に探究していく能力と態度を身につけ、物理学の基本的な原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を身につけていきます。3年の物理では、電気と磁気（電磁気）、さらには原子、原子核、素粒子の世界において、この目標に向かっていきます。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、主体的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 授業の基礎確認 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 授業の基礎確認 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 授業の基礎確認 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学期末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点80％程度、平常点20％程度です。				

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d			
前期中間考查まで	電磁気	コンデンサー		○			a: 電磁気に関する事物・現象について関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとしている。 b: 電磁気に関する事物・現象の中に問題を見だし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 電磁気に関する事物・事情について、観察・実験を行い、記録・整理する等、科学的に探究する技能を身につけている。 d: 電磁気に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、知識を身につけている。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 探究活動 授業の基礎確認 定期考查	
		オームの法則	○						
		電流回路				○			
		半導体			○				
		磁場			○				
		電流のつくる磁場	○						
		電流が磁場から受ける力		○					
		ローレンツ力				○			
		電磁誘導の法則		○					
前期期末考查まで	電磁気	交流の発生			○	a: 電磁気と原子に関する事物・現象について関心や探究心を持ち、主体的に探究しようとしている。 b: 電磁気と原子に関する事物・現象の中に問題を見だし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 電磁気と原子に関する事物・事情について、観察・実験を行い、記録・整理する等、科学的に探究する技能を身につけている。 d: 電磁気と原子に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、知識を身につけている。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 探究活動 授業の基礎確認 定期考查		
		相互誘導と自己誘導		○					
		交流回路						○	
		電磁波	○						
	原子	光の粒子性						○	
		電子の波動性						○	
		原子構造をエネルギー準位		○					
		原子核			○				
		素粒子						○	
後期中間考查まで	基礎基本研究	研究への関心・意欲・態度	○				a: 基礎基本研究で扱う事物・現象について、探究心を持ち、主体的に探究しようとしている。 b: 基礎基本研究で扱う事物・現象について、問題を見だし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 基礎基本研究で扱う事物・現象について、観察・実験を行い、記録・整理する等、科学的に探究する技能を身につけている。 d: 基礎基本研究で扱う事物・現象について、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、知識を身につけている。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 探究活動 授業の基礎確認 定期考查	
		研究における思考・判断・表現		○					
		研究における技能			○				
		研究によって身につけた知識・理解				○			
後期期末考查まで	応用発展研究	研究への関心・意欲・態度	○				a: 応用発展研究で扱う事物・現象について、探究心を持ち、主体的に探究しようとしている。 b: 応用発展研究で扱う事物・現象について、問題を見だし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 応用発展研究で扱う事物・現象について、観察・実験を行い、記録・整理する等、科学的に探究する技能を身につけている。 d: 応用発展研究で扱う事物・現象について、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、知識を身につけている。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 探究活動 授業の基礎確認 定期考查	
		研究における思考・判断・表現		○					
		研究における技能			○				
		研究によって身につけた知識・理解				○			

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 (学)SS理数

教科	SS理数	科目	SS化学	単位数	4単位	年次	3年次
校内名称	化学A・化学B			ユニット数	3	必選別	必修
使用教科書	化学 改訂版 啓林館						
副教材等	サイエンスビュー化学総合資料(実教出版) ニューグローバル化学基礎+化学(東京書籍) チェック&演習 化学基礎、化学(数研出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

☆ 積極的な自学自習・仕上げに向けて
 三年生の授業で学習する内容は高度な計算力を要求するものが非常に多く、これまで以上に確かな技術力と処理速度が求められる。授業中には十分な訓練時間を確保することが出来ないため、各自で時間をとってトレーニングする必要がある。その時々目的に合った問題集を利用して、自らを鍛えてほしい。

具体的には、

- ・「ニューグローバル」：提出の指示あり。復習は各自で。苦手分野は基本問題をしっかり押さえていく。
- ・センター対策「チェック&演習」：提出の指示あり。復習(2周目以降)は各自で行い、前期完了が目標。
- ・国公立二次・私大対策「化学重要問題集」：各自で学習する。必問題→A問題→B問題の順に取り組む。
 最難関校をめざす者は、夏休み終わりまでに全問1周目は済ませる。その後、2周目・3周目へ。
 難関校をめざす者は、夏休み終わりまでにA問題の1周目は済ませ、その後B問題やA問題2周目へ。

仕上げに向けて意識してほしいことは、高校化学は原子・分子・イオンといった粒子とそれらのキャラクターをつかさどる電子の振る舞いに集約される。そして、それらはどんな高度な化学においても基礎となる。
 「そうだったのか!」の多い一年となるように。

2 学習の到達目標

化学的な事物・現象について観察、実験や課題研究を行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を 図りながら物質とその変化 について関心を持ち、意欲 的に探求しようとするとし もに、科学的な考え方や見 方を身につけている。	物質とその変化の中に問題 を見だし、探求する過程 を通して、事象を科学的に 考察し、導き出した考えを 的確に表現している。	物質とその変化に関する観 察、実験などを行い、基本 操作を習得するとともに、 それらの過程や結果を的確 に記録、整理し、自然の事 物・現象を科学的に探求す る技能を身に付けている。	物質とその変化について、 基本的な概念や原理・法則 を理解し、知識を身につけ ている。
評 価 方 法	課題の内容 および提出状況	定期考査 実験レポートの内容 小テスト	行動観察 実験レポートの内容	定期考査 小テスト 再テスト
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点70～80%程度、平常点30～20%程度です。			
使 用 教 材 等	授業(前期3ユニット)：使用教材のうち教科書と資料集の二点は必ず授業の際に用意すること。 演習授業(前期の教科書終了後、後期)：オリジナルプリントを配布する。これを解くためのノートを用意すること。 家庭学習：その他の問題集は各自で用意した問題集ごとの演習用ノートに解くこと。 参考図書：(もちろん必携ということではない。) ☆化学重要問題集 化学基礎・化学/数研出版 ☆化学の新研究/三省堂 ISBN 978-4-385-26092-1 2550円+税			

4 学習の活動

期間	授業	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期中間 考査まで	化学A	気体・溶解	混合気体 理想気体と実在気体 溶解のしくみ 極性と溶解性 溶解度	○			○	a: 溶解のしくみ、極性と溶解性、溶解度について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 基本的な概念を理解し知識を身につけている。	考査 小テスト 課題
			希薄溶液の性質	○			○	a: 蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイド溶液について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b: 記録を元に考察し表現している。 c: コロイド溶液の実験の過程の結果を的確に記録・整理している。 d: 基本的な概念を理解し知識を身につけている。	考査 小テスト 課題
			コロイド粒子 コロイド溶液の性質 コロイド溶液の種類	○	○	○	○		考査 課題 実験レポート 実験中の所作
			化学反応の速さ	○			○	a: 反応速度、反応の速さを決める条件、反応のしくみ、活性化エネルギーについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 基本的な概念を理解し知識を身につけている。	考査 小テスト 課題
			化学平衡	○			○	a: 可逆反応、化学平衡、平衡移動について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 基本的な概念を理解し知識を身につけている。	考査 小テスト 課題
	化学B	高分子	糖類 アミノ酸・タンパク質	○			○	a: 糖類、アミノ酸、タンパク質について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 基本的な概念を理解し、知識が身につけている。	考査 小テスト 課題
前期期末 考査まで	化学A	水溶液中の化学平衡	電離平衡 電離度・電離定数 加水分解 緩衝液 溶解度積 大学入試対策問題演習	○			○	a: 電離平衡、電離度・電離定数、加水分解、緩衝液、溶解度積について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 基本的な概念を理解し知識を身につけている。	考査 小テスト 課題
	化学B	高分子化合物	核酸 合成繊維 合成樹脂 合成ゴム 大学入試対策問題演習	○	○	○	○	a: 糖類、アミノ酸、タンパク質、核酸、合成繊維、プラスチック、天然ゴムと合成ゴムについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b: 記録を元に考察し表現している。 c: 高分子化合物実験の過程や結果を的確に記録し・整理している。 d: 基本的な概念を理解し、知識が身につけている。	考査 小テスト 課題 実験レポート 実験中の所作
後期以降	化学	入試対策	大学入試対策問題演習	○	○		○	a: 化学全分野において関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b: 記録を元に考察し表現している。 d: 分野間を関連付けて理解し、知識を身につけている。	考査 課題

※ 表中の観点について

a : 関心・意欲・態度
c : 技能b : 思考・判断・表現
d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 (学)SS理数

教科	(学)SS理数	科目	S S 生物	単位数	前期2 後期2	年次	3 年次
校内名称	理系 生物			ユニット数	前期3 後期3	必選別	選必
使用教科書	高等学校生物 第一学習社						
副教材等	改訂版リードα生物 数研出版、六訂版スクエア最新図説生物 第一学習社、チェック&演習生物 数研出版						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

授業のスピードは速い。授業中は教科書、図説などを広げて講義を聴き、どんなことも聴きもらさないぞ、という気概をもって臨んでほしい。また、生物学はいろいろな知識を必要とするので、ふだんから新聞や雑誌、図書などを積極的に読み、最新のニュースをどんどん取り入れる努力が必要である。

大学受験との関係

センター試験の理科においては、国公立大学の多くが理系は基礎なし科目「2科目」を必須としている。受験する大学学部の試験科目をよく調べ、生物を必須とする学部や生物では受験できない学部などに注意することが重要である。

授業の受け方

1. 講義

- ア. 授業中は教科書、資料集の該当ページを広げ、本文や図を見ながら話を聞く。
- イ. ノートを要領よくとるとともに、教科書、資料集に線を引いたり、印をつけるという心がけが大切。
- ウ. わからないことが出てくれば積極的に先生に質問して解決しよう。授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中に理解するようにしよう。

2. 演習

- ア. 家で問題を解いてくる。次の授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中にわかるようにしよう。
- イ. 自分の解答と比べながら解説を聞く。自分が解けていても誤った考え方をしている場合もあるのでしっかり聞こう。

2 学習の到達目標

細胞、個体、群集など、各レベルでのさまざまな生命現象を知り、その現象を説明する原理を見出そうとするのが生物学を学ぶ態度である。遺伝、生殖、発生などのしくみ、動物と植物の環境応答の違いなどを分子生物学的見地から考察し、また、生態学や進化学の新しい理論に触れることで、現代の生物学の知識と科学的な自然観を身につける。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象、特に生命現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象特に生命現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象、特に生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	実験レポート問題演習の記述内容の分析・行動評価	考查実験レポート問題演習の記述内容の分析・行動評価	考查実験レポート問題演習の記述内容の分析・行動評価	考查、小テスト、実力テスト実験レポート問題演習の記述内容の分析・行動評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点80%程度、平常点20%程度です。				

4 学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	有性生殖	減数分裂と受精 遺伝子と染色体	○	○		○	a 生殖、発生に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b 実験データから考察し、表現することができる。 c 受精や発生の実験技能を身につけている。	定期考查 小テスト 実験レポート 課題ノート
	動物の発生	配偶子形成と受精					d 減数分裂、受精、発生の知識を身につけている。また、染色体の振舞いからその生物学的意義を理解している。細胞の分化、器官形成の知識を身につけている。	
		初期発生の過程	○		○	○		
		細胞の分化と形態形成 器官の形成と細胞の死						
	植物の発生	配偶子形成と胚発生	○	○		○		
前期 期末 考查まで	植物の環境応答	植物の環境応答と植物ホルモン	○		○	○	a 植物の環境応答、動物の反応や行動、生物の集団の振る舞いに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b 実験データから考察し、表現することができる。 c 植物ホルモンや動物の行動の実験技能を身につけている。	定期考查 小テスト 実験レポート 課題ノート
		植物の環境応答とそのしくみ						
	動物の反応と行動	刺激の需要と反応	○	○		○	d 植物ホルモンの働き、動物における感覚器、神経、筋肉の構造と働き、個体群に関わる知識を身につけている。	
		動物の行動						
	個体群と生物群集	個体群 生物群集	○		○	○		
後期 中間 考查まで	生態系	生態系の物質生産	○	○		○	a 生態系、進化、分類に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考查 小テスト 実験レポート 課題ノート
		生態系と生物多様性						
	生物の進化	進化のしくみ	○	○		○	b データから考察し、表現することができる。	
		生物の起源と生物の変遷					d 物質の循環やエネルギーの流れ、進化のしくみ、系統に基づく分類、を理解している。	
	生物の系統	生物の分類の変遷と系統	○	○		○		
		生物の系統関係						
後期 期末 考查まで		入試問題の演習	○	○		○	a 生物全分野に関心を持っている。 b データを考察し表現できる。 d 生物各分野間を関連付けて理解し知識を身につけている。	小テスト 課題ノート

[illegible]

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	SS理数	科目	SS理科	単位数	1単位	年次	3年次
校内名称	(文系) 化学			ユニット数	1	必選別	選必
使用教科書	化学基礎 改訂版 実教出版						
副教材等	サイエンスビュー化学総合資料(実教出版), ニューグローバル化学基礎+化学(東京書籍), チェック&演習化学基礎(数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

前期は一・二年に学習した内容がどれだけ定着しているかを確認し、「再度定着させていく」という作業になる。たとえ、問題が出来たとしても「何となく」とか「うろ覚えで」ということでは入試問題特有のひねりや、ややこしい計算に惑わされてしまう。とにかく「前期はしっかり基礎を固める」という強い意志をもって取り組もう。

後期は共通テスト演習を繰り返しやっていく。その中で自分が忘れていたこと、抜けていたことをチェックして、隙のない知識を積み上げていこう。

文系受験において理科で80%～90%得点できるということは合格への大きな足がかりになる。仕上げるに向けて頑張ろう。

2 学習の到達目標

物質がさまざまな場面で人間生活にかかわり、役立っていることを理解し、物質の構成や物質の変化に関する見方や考え方を養うとともに、物質やその変化を探究する方法を身につける。また、演習課題に取り組むための力を身につけていく。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象や数学的事象に関心を持ち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、創造的に考察し的確に表現している。	観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	課題プリント 実験プリント	定期考査	定期考査 実験プリント	定期考査 課題プリント
使用教材	授業：使用教材のうち 教科書と資料集 の2点は必ず授業の際に用意すること。どちらも写真や図など、理解を助ける資料が豊富なので、家庭学習でもこまめに自分で開くこと。 家庭学習： 問題集 は各自で用意した演習用ノート(管理上の問題からルーズリーフなどは避ける)に解くこと。※定期試験前の課題は基本的にノートで提出。			
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考査点70～80％程度、平常点30～20％程度です。				

4 学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	電池	電池の原理 電池の歴史 実用電池	○			○	a:電池の原理・歴史、実用電池について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d:基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	考查 課題プリント
	人間生活	鉄 アルミニウム 銅 金属のリサイクル	○			○	a:金属の製錬、金属の性質と人間生活への利用について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d:基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	考查 課題プリント
	化学結合	原子の構造 化学結合 分子の構造と極性 結晶の種類と特徴	○			○	a:原子の構造、化学結合、分子の構造と極性、結晶の種類と特徴について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 d:基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	考查 課題プリント
前期 期末 考查まで	物質	化学の基礎法則 電子式 化学式と式量計算 化学反応式と量的関係	○			○	a:化学の基礎法則、電子式、化学式・化学反応式と量的関係について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 d:基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	考查 課題プリント
	人間生活	洗剤 食料の確保 食品の保存	○			○	a:洗剤、食料の確保・保存について関心をもち意欲的に取り組もうとしている。 d:基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	考查 課題プリント
	実験の総復習	実験器具と基本操作 混合物の分離実験 溶液の調製 滴定実験 気体の発生と捕集	○	○	○	○	a:化学基礎で取り扱う実験について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:記録を元に考察し表現している。 c:滴定実験の過程や結果を的確に記録・整理している。 d:基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	考查 課題プリント 実験プリント
後期以降	共通テスト実践演習	択一式問題の演習	○	○		○	a:化学基礎全分野において関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 b:実験結果を元に考察し表現している。 d:分野間を関連付けて理解し、基本的な知識を身につけている。	考查 課題プリント

※ 表中の観点について

a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現
c : 技能	d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	(学)SS理科数	科目	(学)SS理科	単位数	1単位/2単位	年次	3年次
校内名称	文系 生物			ユニット数	1/2	必選別	選必
使用教科書	高等学校 生物基礎 第一学習社						
副教材等	六訂版スクエア最新図説生物 第一学習社、ニューグローバル生物基礎 東京書籍、チェック&演習生物基礎 数研出版						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業のスピードは速い。授業中は教科書、図説などを広げて講義を聴き、どんなことも聴きもらさないぞ、という気概をもって臨んでほしい。また、生物学はいろいろな知識を必要とするので、ふだんから新聞や雑誌、図書などを積極的に読み、最新のニュースをどんどん取り入れる努力が必要である。

大学受験との関係

センター試験の理科においては、国公立大学の多くが文系は基礎を付した科目2科目を必須としている。受験する大学学部試験科目をよく調べ、生物を必須とする学部や生物では受験できない学部などに注意することが重要である。

授業の受け方

1. 講義

ア. 授業中は集中する。教科書、図説の該当ページを広げ、本文や図を見ながら授業を聴く。すでに習ったことで忘れていた事項が出てくればすぐに教科書や図説を見直して確認する、という心がけが大切である。

イ. ノートは要領よくとる。単に黒板に書かれたことを写すだけではいけない。必要だと思ったことは自分なりに判断してノートをつくろう。

ウ. 疑問点は質問する。わからないことが出てくれば、そのまましておかず積極的に先生に質問して解決しよう。

2. 演習

ア. 家で問題を解いてくる。次の授業で解答・解説がある問題は事前に解き、わからなかったところなど授業中にわかるようにしよう。

イ. 自分の解答と比べながら解説を聞く。自分が解けていても誤った考え方をしている場合もあるのでしっかり聞こう。

2 学習の到達目標

- さまざまな生命現象を知り、その現象を説明する原理を見出そうとする態度の涵養。
- その態度をもって基本的な概念や原理を理解し、科学的な自然観を身につける。
- 大学入試センター試験に充分対応できる学力を身につける。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	実験レポートや問題演習の提出及び記述内容の分析・行動観察	考查 実験レポートや問題演習の記述内容の分析	考查 記述内容の分析 行動観察	考查 実力テスト 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価点の割合は、考查点80％程度、平常点20％程度です。				

4 学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間 考查まで	バイオーム (後半)	生態系内の物質循環とエネルギーの流れ 生態系のバランス 人間活動による生態系への影響 自然環境の保全	○			○	a 生態系の成り立ちについて関心をもち、意欲的に理解しようとする。 d バイオームにおける物質の循環とエネルギーの流れを理解し、人間活動による生態系への影響を考察し、これからの自然環境の保全について望ましい展望を身につける。 d 生物濃縮などについて実習プリント等での演習を通して実体を把握する。	考查 実習プリント
前期期末 考查まで	生物基礎の 復習(前半)	生物基礎の復習(前半)	○			○	a 生物の共通性や多様性に対して関心をもち、意欲的に学習する。 d 生物の多様性から体内環境の恒常性(前半)までの復習を問題演習形式にて行う。	考查 課題プリント
後期中間 考查まで	生物基礎の 復習(後半)	生物基礎の復習(後半)	○			○	a 生物の共通性や多様性に対して関心をもち、意欲的に学習する。 d 体内環境の恒常性(後半)からバイオームまでの復習を問題演習形式にて行う。	考查 課題プリント
後期期末 考查まで	センタ― 実践演習	択一式問題の演習	○	○	○	○	a 生物の共通性や多様性に対して関心をもち、意欲的に学習する。 b 物質やエネルギーの流れを科学的に考察し、理解する。 c インターネットなどを利用して、信頼のできる情報を得ることができる。 d 生物基礎の全範囲にわたる総合問題にも対応できる、問題演習を行う。	考查

[illegible]

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

ワンポイント豆知識

ゾウはネズミよりずっと長生きであるが、一生の間に心臓が打つ拍動の総数や体重あたりのエネルギー使用量は同じである。（中公新書「ゾウの時間 ネズミの時間」本川達雄より）

令和 2 年度 (学)SS理数

教科	(学)SS理数	科目	(学)SS理科(地学)	単位数	前期0.5/1単位 後期0.5/1単位	年次	3 年次
校内名称	地学			ユニット数	前期1.0/2.0 後期1.0/2.0	必選別	選必
使用教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)						
副教材等	資料集：ニューステージ 新地学図表(浜島書店) 問題集：センサー地学基礎改訂版(啓林館)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

引き続き、原理・法則に基づいて理解するように努めること。様々な用語は、覚えるべき言葉というより「現象や事実を『説明するための道具』」である。また地学には、物理や化学の基本的知識や法則も出てくる。それらもすべて多様な地学現象を『理解するための道具』にすぎない。積極的に理解するように努めること。具体的には、以下のことを重視して学習を進めること。 1. 苦手分野を作らない！・・・夏までに克服。そのための既習範囲の総復習。 2. 計算問題を嫌がらない！・・・中学校までの数学で学習した公式をあなどるなかれ。 3. 教科書をしっかり読む！・・・教科書はすべての基本。困ったら教科書にかえれ。 皆さんの努力に期待します。

2 学習の到達目標

・地球と地球をとりまく宇宙について関心を持ち、基本的な概念や原理・法則を理解する。 ・目的意識をもって実験実習・観察に取り組み、地学的に考察する能力と態度を身につける。 ・それぞれの学習事項を関連させて考え、地学的な事物・現象を総合的に理解する。 ・日常生活や社会との関連にも注目し、人類と自然環境の共生について考えを深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象について関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。	地球や地球をとりまく環境に関する事物・現象の中に問題を見だし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、創造的に考察し的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験の基本操作及び地学的事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境について、科学や数学の基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	課題ノート、実験レポート、長期休業中の課題の提出状況 授業中に行う演習問題の取り組みの態度	考查問題における習熟度・理解度	実験レポートおよび考查問題における習熟度・理解度	考查問題における習熟度・理解度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期末に5段階の評定にまとめます。 評価点の割合は、考查点80％程度、平常点20％程度です。				

4 学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d			
前期 中間 考查まで	大気と海洋	日本でみられる季節の気象	○	○		○	a. 日本で見られる気象現象に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 b. 季節の気象変化とその原因について、科学的に考察し的確な考えを導きだせる。 c. 気象現象についての基本的な知識が身についている。	考查問題 課題ノート	
	宇宙の構成	太陽系と太陽 太陽系の誕生 太陽	○			○	a. 太陽系の個々の天体や太陽系その形成史について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 d. それらについて基本的知識が身についている。	考查問題 課題ノート 実験レポート	
		(実験)スペクトルの観察			○	○	○		c. 簡易分光器を正しく作成し、スペクトルを観察する。その結果を的確に記録できる。 b. 結果を整理して考察し、導き出した結果を的確に表現できる。 d. 天体の化学組成を調べる方法について理解する。
		太陽と恒星 太陽の誕生と死	○			○	a. 恒星としての太陽の特徴について関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。 d. 恒星としての太陽について基本的知識が身についている。		
	前期 期末 考查まで	宇宙の構成	銀河系の構造 銀河系とまわりの銀河 銀河の分布	○			○	a. 銀河系の構造や銀河系のまわりの銀河について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d. 銀河系や銀河についての基本的知識が身についている。	考查問題 課題ノート
膨張する宇宙 宇宙の誕生			○			○	a. 銀河の分布している宇宙について、その形成史と現在の姿に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d. 宇宙とその形成史、現在の姿についての基本的知識が身についている。		
自然との共生			地球環境と人類 日本の自然災害と防災 人間生活と地球環境の変化	○	○		○	a. 人間活動が地球環境に及ぼす影響について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b. これまでに学んできた知識をもとに、人間活動が地球環境に及ぼす影響について地学的な時間の流れの中でとらえ考察できている。 d. 日本の自然環境と防災についての基本的知識が身についている。	
実践演習		択一式問題演習	○	○	○	○	a. 地学の全分野に関心をもち意欲的に取り組もうとしている。 b. 地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉え科学的に考察する態度が身についている。 c. 地球や地球を取り巻く環境について科学的に探究する技能を身につけている。 d. 必要な基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。	考查問題	
後期 期末 考查まで		実践演習	択一式問題演習	○	○	○	○		考查問題

[illegible]

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 (学)SS理数

教科	SS理数	科目	(学)サイエンス探究	単位数	1単位	年次	2年後期 3年前期
校内名称	ソーシャルサイエンス探究(文系S探)			ユニット数	1.5	必選別	必修
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

【人が生み出したこと、全てを探究してみよう】 「学問」が確立したギリシア世界では、「この世の物質は何からできているか」を見極めることから探究が始まりましたが、そのような「ピュシス(自然)」に対し、人間の手で作られた道徳や法律などの「ノモス(人為)」も理論的に探究する対象となり、それらの探究を通して、人知を超えた世界や宇宙の秩序に想いを馳せるテオリア(観想)こそ、最高の人間生活だとされました。 現代の社会でも、科学(サイエンス)は自然科学のみではありません。ギリシア人も気付いていたように、社会科学・人文科学も理論的な科学です。教科学習、毎日の生活、文化やスポーツ活動、あるいは世界に関する報道などから、疑問を見つけ出してください。ものごとの成り立ちや、社会・自然への影響を考え、他の文化との比較をし、またその上での新たな創作ができるかもしれません。 独自の方法・理論で立ち向かい、地理的・物理的に捉えた言葉としての「世界・宇宙」を超えた、文化的・社会的な「世界・宇宙」を切り開いてください。

2 学習の到達目標

2年後期から3年前期の1年間をかけて各自の設定した課題に基づいて研究を行う。 文理学科の取り組みの中では、これまでに得た知識・技能を十二分に活かし、発表のための総まとめという位置づけになっている。調査・分析・対話・説明の手法を身につけつつ、特に論理的解決能力の育成に重点を置いて、体系的な発表ができる研究能力の養成をめざす。1年間の受講を通して、自主性および独創性を高め、「探究するところ」を持ちあわせた生徒を育成する。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人文・社会現象に関心や探究心を持ち、答えの用意されていない問いに挑む意欲を有している。	自ら研究テーマを定め、問いとなるリサーチクエスションを立てた上で、調査・研究計画を策定して、探究活動を論理的に進めている。	情報収集手法を習得し、必要な情報・データを的確に獲得することができる。(文献・Web・フィールドワーク等を通じて)	文献やWeb等を通じた情報収集により、研究テーマに関連する諸情報を体系的に把握し、自らの研究課題の位置づけが理解できている。
評 価 方 法	①授業への参加度 (「研究計画」「読書課題」の内容) ②フィールドワークや校外諸機関へのアプローチ内容	①中間・最終発表会 「予稿集」「ポスター」「プレゼンテーション」 「説明・質疑応答」 ②「研究報告書」	①中間・最終発表会 「予稿集」「ポスター」「プレゼンテーション」「説明・質疑応答」 ②「研究報告書」	①中間・最終発表会 「予稿集」「ポスター」「プレゼンテーション」「説明・質疑応答」 ②「研究報告書」
・上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	研究活動(後半)	最終研究目標の設定 研究方法の深化・見直し 研究結果まとめ	○	○	○	○	a: 中間発表時までの研究内容をさらに発展させようという意欲を有している b・d: 研究対象に対する概念的な整理を行い、研究課題をさらに深めるため論点を整理する。 c: 新たな情報収集とその整理を行う。	日々の研究活動の記録
		最終発表会 結果の考察 プレゼンテーション 質疑応答	○	○	○	○	b・c: ①収集した資料やデータを十分に解釈・分析し、適切に活用できている。 ②聴衆に十分配慮した発表について理解し、集中力を途切れさせない優れた工夫がある。 a・b・d: 質問の趣旨を十分に理解し、シンプルかつストレートに応答している。	最終発表会 「予稿集」 「プレゼンテーション」 「質疑応答」
前期 期末 考查まで	研究報告書作成	収集データ・情報の整理 結果の考察		○	○	○	b・c・d: ①収集した資料やデータを十分に解釈・分析し、適切に活用できている。 ②研究対象に対する概念的な整理を行い、論点を整理し、文章で的確に表現することができる。	「研究報告書」

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 (学)SS理数

教科	SS理数	科目	(学)サイエンス探究	単位数	1 単位	年次	3年次
校内名称	サイエンス探究 (理系S探)			ユニット数	前期1.5u	必選別	必修
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

サイエンス探究 (理系S探) の対象は、物質、生命、宇宙などの自然界、自然界にはないものを作り出す「ものづくり」、そして、数、式、図形をはじめとする数学の世界など、多岐にわたっています。解き明かしたいこと、実現したいこと、挑戦したいことに、みなさん自身の手で、研究あるいは開発してみる授業が、サイエンス探究です。この授業は研究テーマを見つけることが研究を進めるうえで重要な要素となります。研究テーマは、みなさんの興味・関心次第で、自由に設定することができます。ただし、すぐに結果がわかることや、設備上不可能なこと、安全上の問題がある場合については、研究テーマにはなり得ません。まずは、身の周りの世界や未知なる世界を見つめて、1年間かけて取り組んでみたいことを見つけてみましょう。研究を進めていくうえで、苦勞することも多々あると思いますが、研究を通して得られる喜びも大きいと思いますので、ぜひ意欲的に取り組んでみてください。

2 学習の到達目標

「サイエンス探究」は、「まこと」で培った情報収集力、情報分析力、文章表現力、プレゼンテーション力、「のぞみ」で培った論理的に分析・判断・検証する力、論理的表現力を十二分に活かして、研究活動を進めていきます。研究活動を通して、知的好奇心、科学的に探究する力、論理的に問題を解決する力など、科学する「ところ」と「ちから」を高めていくことを目標とします。大阪府内、全国、さらには海外研修における研究発表などの機会を活かし、研究成果を世界に向けて積極的に情報発信することにも挑戦していきます。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理、化学、生物、地学及び数学の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	物理、化学、生物、地学及び数学の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物理、化学、生物、地学及び数学の事物・現象を科学的に探究する技能、情報を収集し分析する技能、研究結果をまとめ、発表する技能を身につけている。	物理、化学、生物、地学及び数学の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているとともに、研究活動において、知識・理解を正しく活用できている。
評 価 方 法	研究の最終目標の設定 研究の進め方と工夫 結果のまとめと考察 結論の提示 発表用スライド 最終発表会の発表と 質疑応答 研究報告書	研究の最終目標の設定 研究の進め方と工夫 結果のまとめと考察 結論の提示 発表用スライド 最終発表会の発表と 質疑応答 研究報告書	研究の最終目標の設定 研究の進め方と工夫 結果のまとめと考察 結論の提示 発表用スライド 最終発表会の発表と 質疑応答 研究報告書	研究の最終目標の設定 研究の進め方と工夫 結果のまとめと考察 結論の提示 発表用スライド 最終発表会の発表と 質疑応答 研究報告書
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。				

4 学習の活動

期 間	単 元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 中間 考查まで	研究活動と結果のまとめ・最終発表	研究の最終目標の設定	○	○	○	○	a, b, c, d : 第2学年の研究結果と課題が整理され、第3学年における研究の最終目標が設定されている。	研究活動 研究ノート
		研究方法の見直し・再確立	○	○	○	○	研究の最終目標に向かって、研究方法の見直しが行われ、目標に応じた研究方法が確立できている。	調査活動 研究ノート
		研究結果のまとめ	○	○	○	○	研究結果について、適切に分析・評価され、整理されている。	研究活動 研究ノート
		結果の考察・結論の提示	○	○	○	○	資料、データ、計算結果等が、適切に分析・評価・解釈され、論理的に妥当な結論が導き出されている。	研究ノート スライド
		最終発表会の実施	○	○	○	○	論理的で熱意のある発表であり、聞く者の理解への配慮がなされ、質問の趣旨を理解して応答している。	スライド プレゼン 質疑応答
前期 期末 考查まで	研究報告書作成	研究報告書の作成	○	○	○	○	a, b, c, d : 研究の目的、方法、結果、考察、結論について、論理的に明快な文章で表現され、表、グラフ、図、写真、参考文献、キーワードが適切に配置・掲載されている。	研究活動 研究ノート 研究報告書

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断・表現 c : 技能 d : 知識・理解

令和2年度 (学)SS理数

教科	SS理数	科目	(学)ライフサイエンス	単位数	1単位	年次	3年次
校内名称	ライフサイエンス			ユニット数	前期1.5u	必選別	必修
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド・ノート（啓林館）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

第2学年の『ライフサイエンス』では、人文社会系、理数系、さらには文理の境界領域、生活科学、健康科学、文化、芸術などの多彩な課題について研究を進め、「研究の方法」を身につけてきました。第3学年では、これまでの『ライフサイエンス』の研究結果を英文にまとめていきます。最終成果物として、英語の研究報告書を作成します。また、『信念（まこと）』『理想（のぞみ）』の内容を深化・発展させる取組を行い、思考力、判断力、表現力を高めていきます。第3学年の『ライフサイエンス』の取組を通して、みなさんが生きる社会で大切な力を身に付け伸ばしていくことを期待します。

2 学習の到達目標

第3学年の『ライフサイエンス』は、1、2年の学校設定科目『信念（まこと）』『理想（のぞみ）』を含めた3年間の総まとめです。『信念（まこと）』で培ったインプットの力（情報収集力・読解力）とアウトプットの力（表現力・プレゼンテーション力）、『理想（のぞみ）』で培った論理的思考力・数理解析力をさらに伸ばしていくと共に、自分の考えをまとめ、それを英語で発信する力を身に付けていきましょう。

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
観 点 の 趣 旨	研究対象に興味関心・問題意識を持ち、研究結果をまとめ、英語で発信する意欲を有している。 思考力・判断力・表現力の向上のための発展課題に対する意欲を有している。	課題に対して、論理的な筋道を立て結論を導き、それらを発表すると共に、研究レポートにまとめることができる。	論理的に考え、研究結果を適切な方法で表現し、それを発表すると共に、研究レポートにまとめる等、これらの技能を習得している。	課題に関する知識を体系的に把握し、知識と関連づけ、自らの研究課題の位置づけを理解できている。
評 価 方 法	①グループワーク ②発表 ③研究報告・レポート	①グループワーク ②発表 ③研究報告・レポート	①グループワーク ②発表 ③研究報告・レポート	①グループワーク ②発表 ③研究報告・レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。				

4 学習の活動

期 間	単 元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後 期 中 間 考 査 ま で	取 組 の 前 半	●英語による研究発表 研究結果を英語で 発表する活動	○	○	○	○	a 意欲的なグループワーク・発表 b 論理的な構成、英語表現 c 論理的構成と英語表現の技法 d 知識に基づく自らの研究の理解	グループワーク 研究発表
		●『信念(まこと)』の発展 課題文を読解し、 考えをまとめる活動	○	○	○	○	a 課題に対する意欲 b 解決の思考・判断、発表の表現 c 論理的構成と文章表現の技法 d 知識と関連づけた課題把握・分析	グループワーク 研究発表
		●『理想(のぞみ)』の発展 数理的な課題について 解決してまとめる活動	○	○	○	○	a 課題に対する意欲 b 解決の思考・判断、発表の表現 c 論理的展開と論理的表現の技法 d 知識に基づく論理的思考	グループワーク 研究発表
後 期 期 末 考 査 ま で	取 組 の 後 半	●英語による研究報告書 研究結果を英語で 報告書にまとめる活動	○	○	○	○	a 意欲的なグループワーク・報告書 b 論理的な構成、英語表現 c 論理的構成と英語表現の技法 d 知識に基づく自らの研究の理解	グループワーク 研究報告書
		●『信念(まこと)』の発展 課題文を読解し 考えをまとめる活動	○	○	○	○	a 課題に対する意欲 b 解決の思考・判断、発表の表現 c 論理的構成と文章表現の技法 d 知識と関連づけた課題把握・分析	グループワーク 研究レポート
		●『理想(のぞみ)』の発展 数理的な課題について 解決してまとめる活動	○	○	○	○	a 課題に対する意欲 b 解決の思考・判断、発表の表現 c 論理的展開と論理的表現の技法 d 知識に基づく論理的思考	グループワーク 研究レポート

※ 表中の観点について a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断・表現 c : 技能 d : 知識・理解